

△産業宣教 ペリシテを見た産業人(Ⅰサム 1:9-11)	△レムナント伝道学 まず私の中に主のやぐらを (創 1:27, 2:7, 2:18)	△核心 主のやぐらを先に建て、主が見張り人にならなければ (イザ 62:6-12)	△散らされた弟子たち 非対面レムナントのやぐら (ルカ 23:28)
<p>□序論_契約に従って行く道 14 代の士師を過ぎて、続けてペリシテに苦しめられている。士 21:25 それぞれが自分の目に良いと見えることを行っていたので、死ぬほど苦勞する。私たちは御座のやぐらが背景にあるので、別の道に行ってはならない。すると、道をどのように見つけるのか。</p> <p>1. 荒野 40 年-間違った考えを持っているほとんどの人は、カナンに入れなかった。出エジプトは神様のみこころ。荒野で神様が導くと約束された。</p> <p>2. 強大国-暗闇を止める薬をイスラエルに与えられたが、主、メシア、キリストは、自分たちだけのことであり、強大国に伝達しないならば、滅ぼされて当然だ。</p> <p>3. 力がなくて奴隷に行った。そこで福音を伝えないと戦争、捕虜、属国、後ほど流浪の民、すべて起こった。ただ世界福音化は、この時に起きた。</p> <p>□本論</p> <p>1. ペリシテの背景(言い訳) 1) イスラエルが力がなくて、2) 福音が刻印されなくなっていて 3) 宣教をよく知らずにいる。</p> <p>2. ハンナ 1) Ⅰサム 1:9-11 正しい祈りを始めた。「ナジル人を与えてください」直ちに答えの門が開いた。 2) Ⅰサム 3:1-19(祈り)生まれて神殿にいるようになったサムエルの考えと祈りは完全に違った。主はサムエルのことばを一言も地に落とされなかったし、イスラエルと神殿である教会が、全く別の道に行っていることを見た。 3) 契約の箱、Ⅰサム 7:1-15 契約の箱事件を分かったので、ミツパ運動を開いた。初めてペリシテが問題でなく、イスラエルの問題であることを悟った。</p> <p>3. ダビデ 1) Ⅰサム 17:18 エッサイがダビデをお使いに送って、しるしを持って来なさいと言ったが、そこでゴリヤテのことばを聞いた。 2) Ⅰサム 17:19-28 兄たちは怖くなって隠れていて、戦うというダビデの悪口を言った。その時ダビデは「私がどうして理由がないでしょうか」と話した。 3) Ⅰサム 17:35-47 ダビデは王に「主は私を獅子と熊から救い出してくださったが、主をそしめる者の中から私を救い出されることを信じる」と言った。ゴリヤテに「おまえは、剣と槍と投げ槍で向かって来るが、私はおまえがそしめる主の御名で立ち向かう」と言った。</p> <p>□結論_ヨーロッパ福音化は御座のやぐら、御座の旅程、御座の道しるべによってだけ可能だ。私たちではなくてはならない理由。この時のために私を呼ばれたことを見つけ出せば、答えが見える。</p>	<p>□序論 祈るたびに必ず参考にしなければならないのはレムナント 7 人に与えられたことだ。</p> <p>□本論</p> <p>1. 何をまず先に建てるべきか 1) 創 37:1-11 ヨセフ中に世界福音化のやぐらが建ったのだ。 2) 出 2:1-10 モーセが幼い時に作られた。 3) Ⅰサム 1:9-11 (ナジル人)サムエルは母親の胎の中にいた時から、すでにこのやぐらが刻印された。 4) Ⅰサム 17:18 エッサイがお使いに出して、しるしを持って来なさいと言った。先進国とイスラエルの教育方法だ。ダビデは王になるために油を注がれて、その身分で行ったのだ。私たちは霊的に戦う王の身分を持って行くのだ。 5) イザ 6:1-13 イザヤに神様は「あなたではなく、切り株、レムナントが起きなければならぬ」と言われた。これを知った人々が、働きを起こした。 6) ダニ 1:8-9 心を定めたので、当然、答えが来る。 7) ヨハ 21:15-18 イエスが 3 度も「子羊を飼いなさい」と言われた。ここにすべての答えがみな入っている。私たちが築く神様のやぐらは、次世代のためのものだ。</p> <p>2. どこに建てなければならないのか 1) 創 1:27 私のいのちと 2) 創 2:7 私のたましい、 3) 創 2:18 私の生活の中に △これを祈れば癒やしが起こり、カも生じる。</p> <p>3. どのように建てなければならないのか 目に見えない聖霊の働きによって、目に見えないネフィリムの働きを押し倒す。</p> <p>□結論 Ⅱコリ 10:1-5 私の中にサタンをやぐら、強い要塞、私の考えの要塞を押し倒す。そして、答えの門が開かれるしかない働きが始まるのだ。</p>	<p>私は一日中安らかに吸い込む時は 7・7・7 を活用する。息を吐き出す時は、私が行かなければならない目的地、集会、人を祈る。そのとき、いくつかのことは、必ずすべきだ。私の運命、家系のやぐらを変えなければならない。</p> <p>皆さんの教会が門を閉じた教会を生かすことができるほど、教会のやぐらを新しくしなければならぬ。皆さんの職業が世界福音化することができるように、職業が世界化されなければならない。237-5000 種族の次世代を生かすことになる。これを続けて祈りなさい。</p> <p>□序論</p> <p>1. 見張り人がなければならない。 1) エゼ 3:18-20 すべてが聞くようにする見張り人 2) イザ 62:6-12 主が休まないようにさせる 24、25、00 の祝福を味わう見張り人 3) Ⅰペテ 2:9 光を現わす見張り人</p> <p>2. やぐらが必要(私の中に、教会、現場に)</p> <p>3. 内容 1) 人々が来るしかないプラットフォーム 2) その光を見て死んでいく人々が来て、いのちを得る見張り台 3) 霊的に、世界的に、御座で疎通する力ができるアンテナ</p> <p>□本論_どのように</p> <p>1. 主の契約を正確に握りなさい。 1) 創 37:1-11、41:38 世界福音化の契約を握ったヨセフを導かれた主 2) 出 3:1-20 出エジプト、血のいけにえを献げると話さない。カの手であなたとともに 3) Ⅰサム 3:1-19 契約の箱のそばに横になっていたサムエルに、御声を聞かせて祈りを聞かれた神様 4) Ⅰサム 16:13 正確な契約を握った後に、主の霊が激しく下ったのだ。 5) Ⅱ列 2:9-11 二倍の霊 6) イザ 6:1-13 レムナント運動 7) 使 9:15 ユダヤ人とイスラエルと異邦人と王の前に立てる選びの器</p> <p>△この祈りは、重要なことを始める時にするのが良い。パウロは主の契約が確かに私を支配する時まで断食して、夜に寝ず、マルコの屋上の部屋に臨んだそのまま臨むように待った(使 13、16、19 章)</p> <p>2. 主-私の見張り人 1) 御座のやぐらが私の中に 2) 旅程のやぐら 3) 道しるべのやぐらを建てなさい。</p> <p>3. 主が私の未来を守る見張り人 1) 237-5000 種族が起きようになる。 2) 使 19:21(23:11)、27:24 ローマ、カエサル 3) ロマ 15:23 イスパニア</p> <p>△主の契約が私のやぐらで、主が私の見張り人で、私の未来が主の手にあるのだ。これを置いていつも祈り始めなさい。</p>	<p>世界福音化するには対面教会と非対面教会の同行だ。非対面時代は、おもにメディアだ。</p> <p>コンセプト、コンテンツ、システムによって、世界を動かす。</p> <p>1. どんなメッセージを準備すべきか 申 6:4-9 荒野で「今までであったことを刻印させなさい」「ミツパに集まりなさい。主に立ち返りなさい」戦わずに勝つドタンの町運動。主によって世界を動かす見張り人運動。そして、レムナントの会堂運動、金土日時代運動を逃してはならない。</p> <p>2. 使 17:1、18:4、19:8 特に対面、非対面を置いて作るべきやぐらは、祈りでわざわざ止め、原因を解決するキリスト(使 17:1)、祈りですべてのやぐらを建てる奥義(使 18:4)、まことの答え、神の国のこと、神の国(使 19:8)だ。</p> <p>3. 未来を備える対面、非対面教会と産業 これからの時代は、することではなく、成ることを作って、来るようにさせること。 いのち(光)があるので、来るようになる。三つの庭と、金土日時代は来るようにさせること。驚くべき癒やしの働きが起こるようになるだろう。</p>

△区域メッセージ第 14 週 父なる神様と永遠の答え (I サム 7:1-15)	△聖日 1 部 暴風にあった時代(使 27:24-25)	△聖日 2 部/長老会 献身礼拝 237-5000 を生かす人々(ロマ 16:25-27)
<p>父なる神様(みことば)、子なる神様(救い)、聖霊なる神様(力)は三位一体だ。</p> <p>□序論_契約の流れ</p> <p>1. マタ 16:13-20 旧約聖書はキリスト送るという約束だ。そのキリストが「人々がわたしをだれだと言いますか」と尋ねられた。ペテロが答えたとき、すばらしい祝福を話しながら、だれにも話してはならないと言われた。まだ悟れていないためだ。</p> <p>2. マタ 17:1-9 変貌山で見たモーセとエリヤも、来られるキリストを信じて救われた。</p> <p>3. ヨハ 19:30 イエスが完了したと言われ、</p> <p>4. 使 1:1-8 復活して弟子をオリブ山に呼ばれた。</p> <p>5. 使 2:1-47 約束された聖霊の働きが起きた。マルコの屋上の部屋教会だ。</p> <p>6. 使 11:19-30 ステパノの迫害によってできたアンティオキア教会に、神様は世界宣教のためにパウロを送られた。</p> <p>7. 使 13:1-4 宣教地に出て行くとした最初の日、聖霊の導きを受けた。</p> <p>8. 使 16:6-10 マケドニアに行った。</p> <p>9. 使 19:21 ローマに</p> <p>10. 使 28:30-31 世界福音化するパウロがいる所では、だれも止める者はいなかった。</p> <p>□本論_神様のみことばは</p> <p>1. いのちを生かす運動だ。エゼ 37 章に、干からびた骨が生き返った。エゼキエルが預言したみことばは、死んだ私たちの身分と権威を変える</p> <p>2. 癒やし運動(創 1:27、2:7、2:18)だ。私のいのちの中に神のかたちが植えられ、主がいのちの息を吹き込まれた。生活の中に働きが起こった。この祈りを続けてすれば、やぐらが建つ。7 旅程と道しるべは続けて祈りなさい。</p> <p>3. 力の運動だ。神様がみことばで働かれると、干からびた骨が生き返った。私たちのたましいとからだも、みな生かされる。それゆえ、イザ 62 章に、奪われたことをみな回復させると言われた。それゆえ、見張り人になって、大路を整えて、もろもろの民のために旗を揚げなければならない。</p> <p>□結論_創 3、6、11 章</p> <p>△サタンがアダム、エバを倒し、ネフィリムを作った。力を合わせてバベルの塔を築くようにさせて戦争を起こした。</p> <p>1. 創 3:15 女の子孫である JX がサタンの権威を打ち破る。</p> <p>2. 創 6:14 箱舟の中に入ってくれば生かされる。</p> <p>3. 創 12:1-3 「カルデアのウルを離れて、わたしがあなたに示す地に行きなさい」契約的祝福、根源的祝福、代表的祝福、記念碑的祝福、不可抗力的祝福が出てきた。</p> <p>△みことばを正確に握ることは、すべての事件をみことばの中で、神様が願われることを見ることだ。</p>	<p>□序論</p> <p>1. 暴風に遭った時代に握るべき契約</p> <p>1) 暴風に遭った時代</p> <p>(1) 当時、福音を悟れなかったイスラエル、ローマ属国、異端の汚名の初代教会</p> <p>(2) 今戦争、精神病者、ウイルス、経済混乱、教会の門を閉ざす時代</p> <p>(3) 未来 AI、宇宙経済、非対面時代(霊的問題)</p> <p>(4) さらに難しいことは、私、家庭、子ども、予期せぬ事故で希望がない状況</p> <p>2) 握るべき契約「恐れることはありません、パウロよ。あなたはカエサルの前に立ちます」</p> <p>2. 聖書にある暴風が来た理由と解答</p> <p>1) 長い間、目に見えない霊的状态</p> <p>2) 聖書にある大きな奥義</p> <p>(1) エペ 2:2 空中の権威を持つ支配者に従う</p> <p>(2) 使 1:3 40 日間、御座の力を説明</p> <p>3. 長い間続いている霊的問題を根本的に解決する永遠のやぐらを建てなさい。</p> <p>1) 理由-使 9:15、ロマ 16:25 地のことで解決できない霊的問題がわざわざあることを知って、福音を伝えるべき</p> <p>2) 神様が与えられる霊的やぐら、その力で問題と危機を訪ねて行きなさい。</p> <p>(1) ダビデ (2) ヨセフ</p> <p>□本論</p> <p>1. 御座の力が私のやぐらになるように祈り始める(使 19:8)</p> <p>1) 使 19:8 神の国について 3 か月間、説明</p> <p>2) オリブ山でイエスがされたこと神の国のことを語られる(御座の力)</p> <p>3) 内容</p> <p>(1) 三位一体の神様の力があなたの中にやぐらとなるように</p> <p>(2) 過去、現在、未来を変えることができる力を待ちなさい。</p> <p>(3) 聖霊に満たされるようになること</p> <p>(4) 地の果てまで行く未来を見る力 (5) 旅程と道しるべ</p> <p>2. 絶対やぐら-ローマも見なければならぬ(使 19:21)</p> <p>1) 神様の契約を正確に握れば働き(使 9:15、使 23:11、27:24)</p> <p>2) 神殿建築 24 の契約(神様の力で私、教会、次世代、職業を変えて、世界福音化)</p> <p>3. 未来のやぐら準備-カエサルの前に立ちます(使 27:24)</p> <p>1) 70 年イスラエル滅亡(A.D) 2) 250 年間迫害</p> <p>3) 313 年キリスト教を国教として宣言</p> <p>4) 流浪の民生活(福音を持った者を通して世界変化)</p> <p>□結論</p> <p>1. 人生を変える始まり-キリストが力を約束</p> <p>1) 3 集中 目を開いて、寝る時、屋に</p> <p>2) 3 セットアップ すべてをプラットフォーム、見張り台、アンテナに</p> <p>3) 3 答え 問題(答え)、困難(更新)、危機(道)</p> <p>2. 恐れることはありません、パウロよ。カエサルの前に立ちます。止めることができないうざわいが、使命者ひとりで解決</p> <p>3. 今週に挑戦すること、最も大変で重要な部分→永遠の祝福のやぐらに、24 神殿建築祈り</p>	<p>□序論_長老は 5 つのモデルなるべき(毎日やればできる)</p> <p>1. 7・7・7 刻印-根、体質= Authority, Tacit Power</p> <p>目に見えない上から与えられる力ができる。</p> <p>2. 24-3 集中=5 力できる。この力が確かに感じられる時までが基準だ。目を開けば、無条件に安らかに呼吸して祈り、夜にはメッセージを整理してみことばで答えを見つけて、深い呼吸と深い祈り、屋には呼吸調節して、すべてを祈りに変えなさい。</p> <p>3. 25-3 セットアップ=光の経済</p> <p>神様のことがプラットフォームになって、灯をともし見張り台になって、皆さんに会えば生命力が生かされるようになる(アンテナ)</p> <p>4. 永遠-3 答え=足跡(実際の作品が出てくる)</p> <p>この力を持って問題を訪ねて行って、危機に会いに行く。</p> <p>5. 証人(絶対主権で皆さんを捕らえられる)-絶対計画、契約、旅程、目標-絶対答え</p> <p>使 13:1-4 これが出てくる時まで動かなかった。</p> <p>使 16:6-10 門が閉ざされれば、ものすごいターニングポイント</p> <p>使 19:1-7 マルコの屋上の部屋に起こった力、そのとおり体験→使 19:21 ローマまで</p> <p>△これをいつも味わうことが信仰生活。私たちは神様の導きを受けるために教会に来る</p> <p>□本論</p> <p>1. ロマ 16:25 すでに与えられたこと</p> <p>1) 創 3:15、6:14、出 3:18、イザ 7:14、マタ 16:16、使 1:1-8 女の子孫、箱舟を作りなさい。サタンに縛られた者を解放させなさい。血のいけにえ。キリストの奥義であるインマヌエルの名前を伝えなさい。あなたは生ける神の子キリストです。これをオリブ山で説明した。</p> <p>2) 長老時刻表-時代ごとにわざわざ止める重職者が出て来た。</p> <p>3) RT 時刻表-その後、必ずレムナントが出て来る。</p> <p>2. ロマ 16:26 今隠したこと</p> <p>1) カル、オリ、マル(隠された力のやぐらを建てなさい)</p> <p>2) 超越-旅程(超越できる旅程の力を養いなさい)</p> <p>3) 暗闇 x-道しるべ(暗闇を完全に砕く道しるべを建てなさい)</p> <p>3. ロマ 16:27 未来に与えられる永遠のこと</p> <p>1) A D 70 イスラエル滅亡、250 年キリスト教迫害、313 年キリスト教国教宣言</p> <p>2) 流浪の民時代-313 年以降、ユダヤ人はさらに散らされるようになった。</p> <p>3) 今 (1) ローマ-237 がいるため (2) 多民族-5000 種族がいるため (3) RT-237, 5000 種族まで入って行く実力がある。</p> <p>□結論_速度が重要</p> <p>1. 味わう-ヨセフが神様がともにおられることを味わう</p> <p>2. 待つ-ポティファル、看守、王など不信者が認める</p> <p>3. 挑戦-明らかな神様の計画が見えるときに挑戦</p>